

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

●築地工芸会

会長就任のご挨拶

新会長 桜井 洋一

新年あけましておめでとうございます。
新しい年が、会員の皆様にとって佳き年になりますようお祈り申し上げます。

このたびは、昨年11月の理事会において、次期会長に指名されお引受けすることになりました。何卒よろしくお願いいたします。

●退任のご挨拶

前会長 細江 邦雄

会長に就任した当初は、2年間は長いと思っていましたが振り返ってみれば、就任時に目標とした公約等は具体的な成果は何もなかったように思います。ただ、1番の目的であった、津久井事務局長後の築地工芸会の継続についてはある程度満足で

さて、ようやく我が国は長いデフレから脱し景気も上向いてきました。さらに2020年のオリンピックも決まったことで、日本全体が活気づいてきたようです。これを機に日本への注目度が増し、独自のコンテンツや食文化がさらに世界へ浸透していくことと思います。また、日本のものづくりの信頼度は高く、いろいろな製品が世界で人気を集めています。そのものづくりを支える、我が都立工芸高校の役割は、ますます高まってくるはずです。その中において、築地工芸会は都立工芸高校の良

きる環境で、次期会長のFⅡI科桜井洋一さんにバトンタッチできたと思っています。

これらのことはもとより、事務局業務に携わっていただいた荒井元会長さんと校内理事の神山氏の協力であり、また各理事さんのご理解の上のことと思っています。ここにあらためて厚くお礼を申し上げます。

2年間の会長職を担って思ったことは、各料理事の高齢化と減少に伴

き伝統を守るとともに、新しい時代に対応していかなければなりません。若いOBや女性の参加を呼び掛け、細江会長の後を引継ぎ築地工芸会のさらなる発展に微力ながら貢献していきたいと考えております。

皆様のご指導・ご支援をよろしく
お願い申し上げます。

(昭和43FⅡI卒)



い、総会(2年に1回)の出席者にも影響していることです。前にも述べたことですが、今後は女性理事の役割が当会の継続発展に重要な要素になって来たと感じています。

今後は、新会長の下、築地工芸会の継続発展に協力していく所存であります。

新会長さんへのさらなるご協力をお願いいたします。いろいろとありがとうございました。

頌 春

2014・1・1

中京工芸会

築地工芸会支部

関西工芸会

築地工芸会支部

平成26年度 総会

●日時：5月24日(土) 午後1時～

●場所：母校 視聴覚室及び会議室

◆皆さま、今すぐ予定表にご記入下さい。
詳細は4月発行の会報でご案内します。

◆平成26年の新年会はお休みです。

滝澤 方美 (昭29・D卒) (株)タキ工房 (株)日本コマニヤルフォート (株)フクアップタキ (株)インバクトタキ (株)タクト (株)オッズデザイン (株)ブラン (株)タキC1 (株)タキホールディングス	大鳥 身吉 (昭29・M卒) (株)シグナム 相談役	下山田 信一郎 (昭23・M卒) 中京工芸会 会長	丸山 士郎 (昭43・A卒) 関西工芸会 会長	桜井 洋一 (昭43・F卒) 築地工芸会 会長 (株)スパイク 代表取締役
石原 義久 (昭30・P卒) 石原エディター事務所	頌 春 2014・1・1  撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)			砂口 政範 (昭30・M卒) (有)砂口製作所 代表取締役
中山 清 (昭33・M卒) 築地工芸会 理事				茂木 益雄 (昭30・P卒) (株)フォレスト 代表取締役 会長
細江 邦雄 (昭41・M卒) 築地工芸会 監事 (有)ステーション・エム 代表取締役	駒村 武夫 (昭40・D卒) (株)ソフケン 代表取締役	中村 輝雄 (昭38・P卒) (有)中村印刷所 代表取締役	荒井 拓哉 (昭35・D卒) 築地工芸会 理事	北澤 隆 (昭33・F卒) パキウムモールド工業(株) 代表取締役会長
高木 實 (昭48・A卒) (株)タカギ彫金工芸 代表取締役	梶 広幸 (昭44・D卒) 築地工芸会 副会長	神山 隆夫 (昭43・A卒) 築地工芸会 理事	井上 正治 (昭42・A卒) (有)東新幸社 代表取締役	鈴木 輝彦 (昭41・M卒) (株)マツキ 代表取締役会長

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

本年8月13日以降、本年12月4日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

小田部邦彦、関口邦夫、関口雅江、荒井敏雄、大滝史博、後藤新太郎、川津敬介、栗島眞理子、増田幹康、田代雄、平野堯久、矢島理一、小野塚均、年見昭彦、佐野一義、田中千尋、橘正春、佐竹進、末本洋太、大久保勇、宝田満男、大場須美子、丸山士郎、高井芳雄、磯茂乃、岩井昌代、飯野健次、田代智隆、萩原奈々子、駒村武夫、大沼正道、古木嘉雄、細江邦雄、

平成25年度累計

四〇三、〇〇〇円

◆平成25年度

第2回理事会報告

平成25年11月19日午後6時から母校会議室において、平成25年度第2回理事会が開催され、出席した26名の理事により、次の報告、審議、承認が行われました。

1. 平成25年度会計経過報告

一般会計収入は、寄付金を含めて、例年に比べてやや低調である。

2. 次期会長承認の件

次期会長に桜井洋一氏(昭43・F卒)が推薦され、満場一致で承認された。

3. 平成26年度役員の確認(敬称略)

就任理事…PⅡG科…杉野文彦
退任理事…PⅡG科…丸田順一郎

D科…大野慶一

就任監事…M科…細江邦雄、FⅡ

I科…関 公宇

退任監事…中田 実

◆役員の改選について

平成26年度は役員改選の年に当たります。当番科はM科からFⅡI科となり、昨年11月19日の理事会で承認されました(任期2年)。

なお、今後、各科同窓会から新たに理事の推薦がある場合は、理事会の承認を得たうえで、会報「こうげい」でお知らせ致します。

平成26・27年度役員(敬称略)

会 長

桜井 洋一(FⅡI科・昭43)

副会長

高木 実(A科・昭48)

細江 邦雄(M科・昭41)

岡田 里美(FⅡI科・平1)

石原 義久(PⅡG科・昭30)

梶 広幸(D科・昭44)

理 事

A(アートクラフト科)

曾我部 上(昭30)、大沼 正道(昭33)

杉本 勉(昭36)、井上 正治(昭42)

神山 隆夫(昭43)、堀越 敏晴(昭43)

大沼 千尋(昭45)、石井 正美(昭54)

高木家守子(昭54)

M(マシニングラフト科)

青柳 宏(昭23)、大島 身吉(昭29)

中田 実(昭29)、落合 忠(昭33)

中山 清(昭33)、松井 辰弘(昭34)

神戸 道夫(昭36)、脇嶋 邦雄(昭36)

鈴木 輝彦(昭41)、飯田 直弘(昭49)

佐藤 浩久(昭56)

FⅡI(インテリア科)

中丸 啓(昭30)、森谷 延周(昭32)

工藤 精一(昭36)、関 公宇(昭39)

池田 成孝(昭60)、伊東 久江(昭60)

佐藤 貴志(平1)、坪井 裕(平2)

宮田 潤一(平2)、久保田 晃(平5)

久保田真奈美(平5)

PⅡG(グラフィックアーツ科)

建入 泰治(昭29)、茂木 益雄(昭30)

大澤 正則(昭59)、杉野 文彦(平2)

D(デザイン科)

安藤 良子(昭34)、荒井 拓哉(昭35)

岩井 昌代(昭39)、清水 和男(昭40)

中山れいこ(昭41)、福田 哲夫(昭42)

清水 一忠(昭47)、久世 佳史(昭62)

地方支部

下山田信一郎(昭23M) 中京支部

丸山 士郎(昭43A) 関西支部

監 事

関 公宇(昭39FⅡI)

細江 邦雄(昭41M)

宝石・石止全般
株式会社 タカギ彫金工芸
代表取締役 高 木 実 (A・48卒)
〒111-0054 台東区鳥越1-23-5
電話(03)3866-0961(代)

プラスチック 金型製作
真空成型 プレス抜型
圧空成型 トムソン抜型
企画 デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ
V-MOLD バキュームモールド工業株式会社
本社・〒131-0031 東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831 埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960
-詳しくはホームページで-
http://www.vmold.co.jp/
e-mail caduser@vmold.co.jp

活躍を続ける

田口 壽恒さん

人間国宝（昭34・A卒）

昭和34年A科卒業の田口壽恒さんは、平成18年に重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、平成22年には旭日小綬章を受章されて鍛金の世界でますます活躍されています。

田口さんの代表的な作品のひとつ「鍛籠銀面取り鉢」への思いを語っていただきました。

「鍛籠銀面取り鉢」への思い

昭和59年「日本伝統工芸展」19回展に於いて「第31回日本工芸会総裁賞」を受賞しました。昭和47年初入選より12年、感無量でした。

初入選より2度連続に入り展覧会とはこんなものか、と思いました。翌年より3回続けて落選と成り、何を作ったら良いのか、迷いに迷い続けた末に、四分一という銀・銅・金の合金で作品を造ろうと思いました。

この金属合金は鍛金という私の家業である鍛起の技術も明治以後の近代化に依り、この地金を作品として加工するには、昔よりの技術である、鍛ち上げという技法を使うのが良いと、父よりアドバイスを受けたが、家ではすでにこの技術での作業は、使っておらず、道具もあまり有りませんでした。1度記録映画で観たのを思い出し、

道具造りから始めることに成りました。

まさに材料との格闘でした。私の自由にならなかった。その時の作品はその年の日本伝統工芸展に入選しましたが、会場で自分の作品の前に立つのが不安でした。作品の欠点や、やり足りないところが気になったのです。受賞の作品は20作目位での作品でした。

前年にも落選したことで、作品が仕上がったときは、一応手応えを感じていました。

2020年にはオリンピックが有ります。これからの7年で体力も落ちると思います。80歳に成りなおいを感ぜさせる作品を造り続けていたい。

工芸での3年間は正にソフトテニスをするために通っていた様な気がします。

卒業後も近くのクラブに入り早朝テニスをやるのが私の健康の秘訣でしょうか。



昭和59年 伝統工芸新作展

第11回伝統工芸日本金工展
「黒味銅 輪花鉢」昭和60年 伝統工芸日本金工展
「鍛籠銀面取り鉢」

祖父、父の後を継ぎ、金属を金づちで打ち伸ばして器物を成形する鍛金の世界に入り50年余り。人間国宝に選ばれたことに続く荣誉に喜びをかみしめた。

手のひらになじむ曲面を持つ水指、丸い鉢の内側に平面を取り、光の反射を強めた生け花用の鉢…。これらすべてを1枚の金属板から生みだしている。「当て金」と呼ばれる太い鉄の棒を木製の作業台に突き刺し、その上に載せた金属板を金づちでたたいて立体化。最後は1ミリ以下の細かい作業に全神経を集中させる。酸化させて色合いを仕上げることもある。1つ作るのに2カ月を費やす。

中学生のころから父の仕事を手伝い、「ごく自然に入った」というこの道。「気がついたら仕事場にいる」というほどのめりこんできたが、職人の意地と先見の明で一家を守った祖父への思いは強い。

戦中の金属類回収令で、職を奪われた祖父。仕事道具も供出しなければならなかった。しかし、祖父は道具一式を布団や日用品を入れた箱の中に忍ばせて疎開先まで持っていく、国には渡さなかった。（一部割愛）

祖父の残した道具は今でも大切に使っている。

「この仕事ができるのはこの金づちがあるから」。こう語り、カン、カン、とリズムを刻み始めた。

鍛金一筋50年：祖父の道具に導かれ
平成22年4月29日発行「産経新聞・朝刊」安岡一成氏の記事から抜粋
「同じことをずっとやり、一筋の道を歩いてきた。長くやつても目の目を見ない人もいるのだから、感無量だよ」

支部だより

◆中京工芸会50回総会開催◆

中京工芸会は、50年前に本部築地工芸会事務局長の故津久井正幸先生（S17A卒）と名古屋在住の故只腰一久氏（S12F卒）によって同窓会支部として創立されました。昭和38年の準備記念総会、翌年の第1回総会から今年の50回総会まで1度も欠かすことなく開催することが出来ました。これも築地工芸会のご支援、先輩諸氏のご努力・ご協力があったからこそ快挙だったと思います。

今年も、10月20日(日)13時から名古屋の料亭「大森」にて開催しました。築地工芸会の細江会長さん・事務局の神



中京工芸会50回総会

山さん、母校の松本校長先生、関西工芸会の丸山会長さん、そして横浜から駆けつけて下さった岩崎龍二さん（S35M卒）のご来席を頂きました。当会からは、2名の女性を含めた10名、総勢15名と50回にふさわしい賑やかな総会になりました。まさしく「老若男女」が「和気藹藹」と3時間を過ごしました。それぞれの皆さんが「工芸の学び舎」時代を懐かしく思い返したことと思います。続いて、2次会のカラオケも、来賓の方全員と、ほとんどの会員が遅くまで喉を鳴らし、帰京すること忘れていました。

中京工芸会も高齢化は免れません、多くの皆さんが参加して頂くことが、今後の存続に繋がります。

中京工芸会副会長

五反田 稔（昭35M卒）

中京工芸会の歩み（創立～50回）

昭和38年 創立準備・創立記念総会

昭和39年 第1回総会

昭和40年 第2回総会

昭和41年～46年 毎年 新年会・総会

昭和47年・48年 総会

昭和49年～51年 毎年 新年会・総会

昭和52年～平成5年

毎年 総会（第30回）

平成6年～平成25年

毎年 総会

節分会・春の集い・花見会

平成25年10月 第50回総会

◆平成25年度 関西工芸会の集い◆

この度53回目となる伝統の関西工芸会の集いを、11月9日大阪は阪急百貨店の高層階にある日本料理屋「つる家」にて大阪を一望する景色の中、開催いたしました。

私は本年度から前事務局の丸山会長から事務局を引き継ぎ、会の進行をさせていただいております。

昨年関西工芸会始まって以来の初の女性参加者があり盛り上がった翌年の今回、初の10代の男性、女性はさらに増えて4名が参加してのとても賑やかで華やかな明るく楽しい会になりました！こうして新しい人材が毎年増え、会の存在を知っていただくことで伝統の関西工芸会を継続していきます。今



平成25年度関西工芸会の集い

後はネットを活用しながら新しい人材との交流を開拓し、この関西の地で同じ学び舎を卒業した大先輩とこれからの後輩達との交流の場を絶やさず継続してまいります。

関西工芸会事務局

松田 健（平成13A卒）

訃報

前回の会報159号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

（ ）内は逝去された日です。

佐藤三樹彦氏	昭11・F卒（25・7・30）
金子 至氏	昭11・F卒（25・11・8）
杉田 兼一氏	昭18・M卒（25・11）
沓掛岩三郎氏	昭18・P卒（25・10）
田村 宗義氏	昭25・A卒（25・9・27）
岡西 高男氏	昭25・F卒（24・1）
榎本 利廣氏	昭28・F卒（25・6・3）
河本 博行氏	昭28・P卒（24・4・11）
田中 郁子氏	昭28・D卒（25・7・11）
和田 勉氏	昭29・F卒
宮宅 達夫氏	昭34・M卒（25・8・18）
稲垣 宏信氏	昭36・F卒（25・7・26）
栗島 忠弘氏	昭40・D卒（25・3・29）

書と造形の合体に挑戦する

内田 盛雄さん

(元D科教員)

元D科教員の内田盛雄先生が書の世界で活躍されており、最近では書と造形の合体に挑戦され、注目されています。

昨年10月3日～9日に北青山のギャラリーコンセプト21で、盛観会のメンバーによる「書芸展」を開催されました。そのユニークな作品を紹介するとともに、内田先生が工芸高校で教鞭をとられていたころの想い出から、現在の盛観会への思いを語っていただきました。



「書芸展」の立体看板

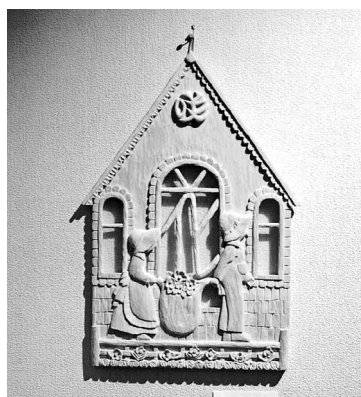
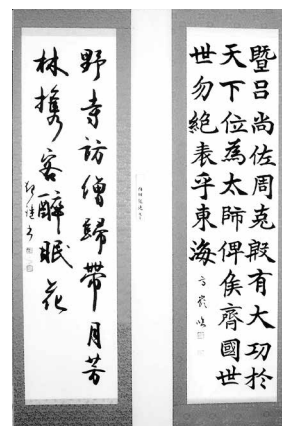


「書芸展」会場で会員の庄司さん(元D科教員)と

●工芸高校と私

小学校低学年の頃から私は、工芸高校(当時は府立工芸学校か)という素晴らしい学校の存在を知っていたので

楷書 李白の漢詩、読売書法展での特選作品
(この作品で役員に昇格)
共看明月皆如此唯願當歌對酒時月光長照金
在長安醉花柳五侯七貴同杯酒氣岸遙凌豪士
肯落他人後夫子紅顏我少年章臺走馬著金鞭
納麒麟殿歌舞遄留玳瑁筵與君自謂長如此寧
共看明月皆如此唯願當歌對酒時月光長照金
在長安醉花柳五侯七貴同杯酒氣岸遙凌豪士
肯落他人後夫子紅顏我少年章臺走馬著金鞭
納麒麟殿歌舞遄留玳瑁筵與君自謂長如此寧
共看明月皆如此唯願當歌對酒時月光長照金
在長安醉花柳五侯七貴同杯酒氣岸遙凌豪士
肯落他人後夫子紅顏我少年章臺走馬著金鞭
納麒麟殿歌舞遄留玳瑁筵與君自謂長如此寧

「花咲く日々」を隠し文字で表現した
木工レリーフ

行書七言二句

す。それは、従兄弟に工芸OBがいて、彼が造る木工作品や、絵画などを見る機会が多く、工芸への憧れを持っていたからでしょう。従って、私自身が後に工芸高校デザイン科の教員になった事は、その後の人生を考えても、大変嬉しく、幸せな事でした。

●デザイン科での授業

しかし、憧れのデザイン科の教員になれたものの、当初は、まだまだ知らない事が多く、沢山の勉強が必要でした。幸い工芸は、神保町や銀座通りなどのデザイン資料の宝庫に恵まれていたので必要に迫られて、夢中で勉強しました。見て来たばかりのポスター等を掲示資料にして、興奮さめやらぬままに、生徒諸君にどんどん見せ、熱っぽく話していたものです。この事は生徒へのかなりの刺激になったようです。

●想い出トランプ

3年のデザイン実習の時、希望を調べて3班(商業、工業、工芸デザイン)の3つに編成した授業を行った時期があり、私は商業デザイン班を受け持ちました。集ったのは13人、この13という数字は、すぐにトランプの13枚に結びつき、13人それぞれが1枚ずつ受け持ち、残ったジョーカーが何と私の担当でした。

13枚に統一感を出すため、13枚が色

味のグラデーションで移っていく、必ず昆虫を1匹ずつ描き込む、どこかにばかり表現の部分を作る、などの共通条件を設定し、大きさを「B全」という大版を用いて制作に挑みました。この作品群は、工芸祭の時、天井近くの高さに斜め下を向いて飾られ、大変話題になったようで、D科の先生方にもほめて戴き、忘れられぬ想い出となっています。

●現在の創作活動と「盛観会」

私は幼少の頃から絵や字をかくのが大好きで、中・高校生の頃など、授業が退屈だと、ノートに鉛筆やペンで、活字の明朝体をビッシリと描きまくる、といった調子でした。

したがって、7・8年前まで、自分の所属する「書海社」と、本邦最大といわれる「読売書法会」とに出品を続けていました。しかし70歳までにと目標にしていた、書海社の審査員と、読売書法会の役員になりましたので、公募展への出品をやめ、今は自分の教室のみでのんびり楽しくやっております。

一方、盛観会では、20人近くの会員が活動していますが、ほとんどが、工芸のOGです。従って、書道だけではなくものたりないという思いから、造形的な作業もと入れ、10月には、2回目の書道と「文字をモチーフにした造形」とを合体した「書芸展」を北青山

「投稿を歓迎します。」

＊皆様の個展・展覧会出品・受賞、新聞で紹介された等、ご活躍の様子をぜひお知らせ下さい。写真、案内状等もできるだけご提供下さい。

＊クラス会の様子もお知らせ下さい。●締切・原則として、2月末、7月末、10月末となっています。

郵送先・築地工芸会（工芸高校の住所）
メール送付先：taquya@nifty.com



盛硯会旅行 京都・奈良・吉野（D科OBのご招待）

の画廊で開催しました。一寸変わった展示会という事もあり、会場は驚くほど沢山の来場者で溢れ皆ホクホクの笑顔でした。来場者の中から5人程入会者があり、現在、新年会、食事も、旅行など催して楽しく活動しています。

● 校友の活躍

道元禪師御像制作について （秋田県鹿角市毛馬内 仁叟寺）

福本晴男（昭和35・F卒）

平成21年秋、父親と同郷の毛馬内出身の方より、道元禪師像制作依頼をいただきました。

遠い諸霊供養もできること、謹んで制作をお引き受けさせていただきました。

像造の手がかりとして、

・「道元禪師像（道元観月の像）」

― 福井県宝慶寺蔵 鎌倉時代

示寂の4年前道元禪師50歳ごろの像と考えられている。

・「道元禪師頂相（墨染め曲糸律衣座像）」

― 福井県永平寺承陽殿造 室町時代

この2つの画像を基本に、その他諸像を参考に進めました。

木取り、木寄せが終わり、こなしにかかったところで、突然東日本大震災、地震、津波、原発事故、三重の大災害が起こりました。禪師誕生から800余年の霊歴の中、人の世で起こった事実を記憶し忘れないため、椅子背板に津波模様を刻み、慈悲をもって「現実を凝視」する道元禪師像を刻みだすことに専念。開眼までに足かけ5年、自刻自彫による制作です。

像仕様

・像 樟（伊豆 河津産）

木寄せ造り 内刳り 叩き鑿 淡彩
仕上げ
座高85cm×幅79cm×奥行60cm 38kg

・椅子 楠

カシューによる黒漆塗り
高さ156cm×幅79cm×奥行60cm 38kg

・付属

沓 樟

沓台 槐 古材



道元禪師像（等身）

ic用各種タイバーカッター

各種専用機 設計製作

（有）神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13（昭36）

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 D3（昭29）

（株）たき工房 （株）たきホールディングス （株）日本コマーシャルフォト （株）ブラン
（株）ワークアップたき （株）Odds Design （株）インパクトたき （株）たきCI （株）タクト



株式会社たき工房

本社：〒108-0023 東京都港区芝浦3-14-1 インパクトビル3F TEL:03-5484-6400（代）URL: http://www.taki.co.jp

TAKI GROUP

株式会社 マツキ

各種金型設計製作

（プラスチック・ダイカスト・プレスおよび成形）

代表取締役会長 鈴木 輝彦
（昭和41・M科卒）

〒132-0031 東京都江戸川区松島2-1-7
電話 03-3656-5766 FAX 03-3656-5675

● 校友の活躍

次の方々の個展・出品等がありました。

◎ 個展

第5回 鑄る 戸津圭之介展

― 鎮魂の譜 ― (昭和32・A卒)

巢鴨・高岩寺会館



「九色鹿」今昔物語より

・ 染織

松原 忠氏 (昭和57・M卒)

藍形染着物「竹林の光芒」

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着尺「雲文」

・ 金工

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

鍛錬銀面取鉢

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

兜虫金具

・ 木竹工

林 哲三氏 (昭和37・F卒)

黒柿赤漆四方箱

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

楓拭漆小箆筒「碑林玄英」

14人展

横浜・ギャラリー ミロ

安藤 良子氏 (昭和34・D卒)



「ヴェネチア幻想」

◎ 出品

第60回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館・新館
7階ギャラリー

佐野 一義氏 (昭和17・F卒)

「微睡」

福本 晴男氏 (昭和35・F卒)

「悲しみが立つ」

おとなの工芸祭2013

神楽坂ART GALLERY (アートガレ) ギャラリー

参加者

● 江連 誠 (昭和51・D卒) プロデューサー

● 佐藤秀男 (昭和51・D卒) グラフィックデザイナー

● 永井裕明 (昭和51・D卒) アートディレクター

● 飯嶋晶子 (昭和51・D卒) ドレスデザイナー

● ドレスデザイナー

● 飯田歯科クリニック勤務

● 狩野浩之 (昭和53・D卒) パッケージデザイナー

● 佐久間美行 (昭和57・D卒) 歯科衛生士

● 金児剛夫 (昭和58・D卒) グラフィックデザイナー

● 工業デザイナー

● 玩具デザイナー

● 松原伸生 (昭和59・D卒) 染色工芸家

● 松村素子 (昭和59・D卒) CADオペレーター

● 大竹美樹 (昭和59・D卒) フラワーアーティスト

● 瀧山幸代 (昭和61・D卒) イラストレーター

● 帆足宗二郎 (昭和64・D卒) デイス

● プレイ請負人

● 猪上雅也 (平成2・D卒) 刺繍職人

● 渕 賢二郎 (平成3・D卒) 焼き物屋

● 村木邦子 (平成3・D卒) 元デザイナー

● 杉原由美子 (平成4・D卒) CGデザイナー

● 吉寄正治 (平成5・D卒) イラストレーター

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿楽町2-8-16
平ビル8階

電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp



会場にて永井裕明さんと君島先生

● 遠藤裕美 (平成5・D卒) イラストレーター

● 栗山あゆみ (平成5・D卒) イラストレーター

● 宮尾純子 (平成5・D卒) 会社員

● 山田雅子 (平成5・D卒) 向島芸妓

● 水沢あゆみ (平成6・D卒) アートディレクター

● グラフィックデザイナー

● 君島昌之 (元デザイナー)

● 諭 昭和46年

● 平成6年在職

クラス会

●辰巳会（昭和23年 第二本科卒）

昨年は猛暑が続く特別暑い夏でしたが、9月6日(金)に地の利がある上野駅近くの上野がんこ本店にて第28回辰巳会を開きました。傘寿も超え高齢の我々ですが、皆、記憶力は抜群で、工芸時代の思い出話に花が咲き、うなずいたり手を打ったり感嘆の声を上げたり、それはそれは大盛況でした。

次回は平成26年9月5日(金)です。全員変わらぬ壮健さで集まれることでしょう。参加者が1人でも増えることを願っています。どうぞ宜しく！

(田代 智隆)

●昭和30年全日制A科卒喜寿を祝うクラス会

久しぶりのクラス会に安原先生をお招きして喜寿を祝う会としましたが、



辰巳会（昭和23・24年第二本科卒）



昭和30年全日制A科卒 喜寿を祝うクラス会



昭和30年定時制A科卒 クラス会



昭和32年卒全日制D科の親睦会

本年先生は米寿を迎えられたとお聞きし、急遽合同祝賀会と致しました。

出席者全員先生から思いもよらぬお祝いを頂戴致しました。大変恐縮致しましたが我々も何かお祝を、と思いましたが、急な事とて慌てて調達した心ばかりのものを差し上げ長寿を心から祝福致しました。

宴は4時間半に及び別れを惜しみつつ再会を約しました。

それにしても卒業以来60年黄泉に旅立った者、病と闘っている者の多さに唯々時の経つ速さと長さを実感したクラス会でした。

(曾我部 上)

●昭和30年定時制A科卒クラス会

2年前に4年間担任して頂いた橋本幸男先生が逝かれ、3年振りのクラス会のはじめに黙禱を捧げました。

前回前立腺手術だった西久保泰重君も快癒し参加者は12名、遅刻した本多

吉和君は写真に入っていないません。

話是在学中から20代の生業の定まる頃が多く、半世紀経ても皆よく憶えています。学校からの紹介も、その後の互いに関わることが多くなったのだから。長い間思っていたことも友人からの言葉で理解が更に深まりました。多くが傘寿を迎える2年後に再会を約して別れました。湯島「天庄」にて

(井上 稔)

●昭和32年卒全日制D科の親睦会

忘年会には、やや早い平成25年の11月9日(土)、私たちデザイン科6期生の有志7名は、浅草の水の上バス乗り場集合して、水上バスに乗船。

約1時間の隅田川クルージングの後、浜離宮恩賜庭園に上陸しました。

好天に恵まれた浜離宮庭園を散策、1時間半の紅葉狩りを楽しみました。その後、近くの築地場外市場を抜け

親睦会場の『すしざんまい奥の院』に到着。先着の級友を交え、8名になった私たちは、毎年恒例の有志親睦会を開催しました。

今回は『すしざんまい』お勧めの大皿料理を囲み、尽きぬ工芸時代の思い出に往く晩秋のひと時を過ごしました。

(上口睦人)

●33会（昭和33年全日制F科卒クラス会）

昭和33年木材工芸科卒業のクラス会は、平成25年9月28日港区海岸のイタリアンレストラン、オーシャンディッシュクオンで行われました。

久しぶりのクラス会でしたが、レインボーブリッジから湾岸の夜景が一望できる貸切会場の気楽さから学生時代に戻った気分、飲んで、食べて、語り合いました。

卒業後55年経っていますが多くのメンバーが現役で仕事をしているのでクラス会の禁句（孫の話・

病気の話・年金の話）は全く出ず、活気あふれるクラス会でした。

次回は平成26年の秋に行うことを決め、解散いたしました。

参加者は石井三雄、上田邦介、久保田照雄、郡司敏治、澤田泰雄、田中耀信、中台三雄、中村志郎、名取孝久、牟田幸彦、吉川弘、長堀映司の12名でした。

(長堀映司)

クラス会

●昭和39年全日制A科卒 日展見学会

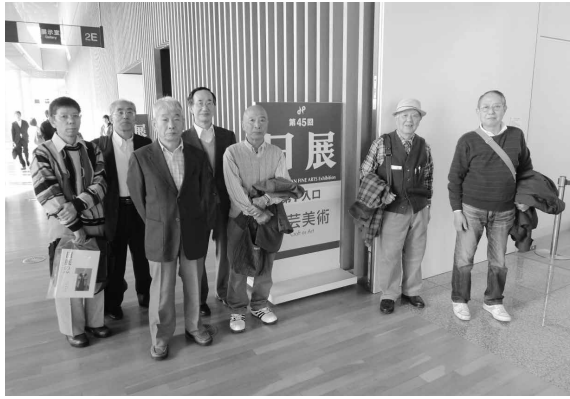
11月24日恒例の日展見学を、担任の安原敏郎先生及び同級生7名で行いました。

同級生の田中照一氏の作品を本人に解説していただき、工芸卒の方々の作品を説明を受けながら拝見いたしました。

終了後東京駅で懇親会を行い米寿を迎えられた安原敏郎先生は元気に散会となりました。
(坂巻 亨)

●昭和45年全日制M科卒 秋の工芸祭と親睦会

11月2日(土)工芸祭の見学会と親睦会を開催、1年ぶりに皆と再会しました。工芸祭には旧校舎以来久しぶ



昭和39年全日制A科卒 日展見学会



昭和45年全日制M科卒 秋の工芸祭と親睦会



昭和23年本科M科卒 忘年会



平成13年全日制A科卒 三十路会

卒業から12年経っても変わらぬ友情に「やっぱり工芸で良かったなあー」と思える1日を過ごしました！
(松田 健)

りに訪れた人、9階建ての校舎を見学するのに一苦労でゆつくり教室内を回る時間のとれなかった人も居ましたが、それぞれが昔を思い出しながら、懐かしく楽しいひと時を過ごしました。

その後夕方から霧雨の降る中、工芸高校正門前に集合して本日の宴会場「膳菜や 水道橋店」に向かいしました。皆で陽気な親睦会にしようと言うことで、「元氣、楽しく、嬉しく」のひと時でした。62歳これでいいのでしょうか？

今夜もタイムスリップして工芸生に戻ってしまいました。

今回は13名が参加した気楽な親睦会でしたが、次回は改めて、M1・M2合同クラス会を企画し、更に多くの旧友と再会出来る事を楽しみに

しています。

『集合写真…手前から右回りで 遠藤恵樹・佐藤守克・小島貴代子・歌川久雄・近藤賢治・青木実・山路益男・横倉敬一・中村高久・古木嘉雄・田原賢二・児玉明・笠井剛』
(M2・歌川久雄・中村高久・M1・笠井剛)

●昭和23年本科M科卒 忘年会

私達が入学致したのは、昭和19年、東京府立工芸学校精密機械科の50名でした。

本年83歳になり、恒例の忘年会の参加者もわずか6名になり、さびしく思いますが、また、来年も12月第1月曜(1日)に再会を約して解散致します。
(下山田 信一郎)

●平成13年全日制A科卒 三十路会

平成25年3月に同級生が全員三十路に突入した記念に渋谷にて三十路クラス会を開催いたしました。担任の井上先生は都合により参加できなかったのですが、男性9名女性33名の42名いたクラスで今でも全員と連絡が取れる強い絆がありこの度28名が参加しました。母となり子供も連れた参加者もいたので昼の部と夜の部に分けての開催です。

ものづくりの工芸をでて、現在ジュエリー職人・革職人・パン職人・WEBデザイナー、特殊な仕事だと数万人の前でライブをするプロドラマー・福井放送の女子アナ・石垣島で居酒屋店長、また国外からトルコ・シンガポール・上海で生活する友も参加しました。

母校だより 1

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●ヒコみつのジュエリーカレッジ高校

生デザインコンテスト

アイデア賞 2年 森田感

●カラーコーディネーター検定試験

3級 2年 石澤愛瑠

●実用英語検定試験

3級 2年 中村夏音、加藤拓実

準2級 3年 田原咲

●漢字検定 準2級 2年 加藤拓実

●危険物取扱者試験

乙種第4類 3年 山田奈々未

●色彩検定 3級 3年 1名合格

MACHINE CRAFT

●色彩検定 3級 2年 2名合格

INTERIOR

●第7回ものデザインコンテスト

クラフト部門

最優秀賞 2年 先崎帆南

優秀賞 2年 渡辺恵子

優良賞 2年 橋本多聞

3年 三浦孝子

インテリアデザイン部門

最優秀賞 3年 唐澤志歩

優秀賞 3年 中谷 真

優良賞 3年 関なつみ、長嶋奈々

小林遼大

●第8回若年者ものづくり競技大会

(木材加工職種)

第3位 3年 安藤大祐

●第27回デザイン甲子園(全国高等学校)

校インテリアデザイン展)

九州経済産業局長賞 2年 半田由衣

大川市議会議長賞 3年 伊勢萌乃

●第26回丹波の森ウッドクラフト展

(木のおもちゃ大賞展)

優秀賞 3年 大和田智子

ジュニアの部

佳作 3年 関なつみ

●東京都建設系高校生作品展 ポスタ

I部門

優秀賞 2年 佐々木香乃

実習部門

審査員特別賞

3年 石曾根斐子、伊勢萌乃

佐藤駿斗、澤田佳央理

瀬尾 真、長嶋奈々

中谷 真、野口沙絵

藤山莉沙、増子華之

家具部門

最優秀賞 3年 長嶋奈々

審査員特別賞 3年 野口沙絵

CCI東京特別賞 3年 関なつみ

建設模型部門

CCI東京特別賞 3年 小林遼大

設計製図部門

最優秀賞 3年 唐澤志歩

●レタリング検定

3級 2年 29名合格

●色彩検定

2級 3年 1名合格

3級 2年 1名合格

●第52回 建築CAD検定試験

4級 2年 16名合格

工芸高校が4級学校賞 受賞

2年 橋本多門が4級最優秀賞受賞

●第26回 全工協主催 基礎製図検定

3級 2年 4名合格

1年 27名合格

2年 9名合格

●第52回 建築CAD検定試験

3級 2年 6名合格

4級 2年 1名合格

●インテリアコーディネーター資格試験

一次試験科目合格 3年 2名

GRAPHIC ARTS

●2013年9月印刷の月PPRポスター

デザイン

佳作 3年 曾田 萌、山田智子

●平成25年全国地域安全運動に伴うモ

デルポスター・標語

ポスター最優秀賞 2年 山口和子

●文京区高齢者クラブ会員募集ポスター

採用 2年 三浦奈々、種子田萌夏

●第26回道のある風景写真コンクール

努力賞 3年 笹川あかり

2年 田中雄大

1年 石黒真衣

●未成年者喫煙防止ポスター

高校生の部

最優秀賞 2年 三浦奈々

優秀賞 3年 福島歌奈子

2年 伊東知恵、富安柚衣

●川の写真コンクール

高校生の部

金賞 2年 遠藤菜摘

銀賞 3年 氣田愛美、鶴岡 若葉

佳作 3年 馬場研登

2年 田中雄大、山内ありあ

●第17回全国きものデザインコンクール

高校生の部

金賞 3年 小林花恋、高橋真実子

東 里香

銀賞 2年 曾田 萌

●第4回高校生デジタルフォトコンテスト

準グランプリ 3年 清水樹里

●8020運動ポスター

入選 3年 小林花恋、福島歌奈子

●第9回IPA情報セキュリティ標語・

ポスター・4コマ漫画コンクール

学校賞

●未成年者飲酒防止ポスター

佳作 3年 保戸田舞

1年 安田萌々

母校だより2

●第8回スチール缶リサイクルポスターコンクール

佳作 1年 徳井愛子

●色彩検定

3級 2年・3年 4名合格
2級 2年・3年 5名合格

DESIGN

●わくわくどきどき夏休み工作教室

パンフレット原画作成

3年 山内富江

●(冊子)都立高校に入学を希望する皆様へ

表紙原画作成 3年 伊藤彩歌

挿画作成 3年 鈴木南奈

2年 田邊香奈子

●24年度学校要覧

表紙原画作成 3年 植賀風花

●文京区社会を明るくする大会

ポスター、パンフレット原画作成

1年 和田幸恵

パンフレット原画作成

1年 山本万貴

冊子「情報」表紙原画作成

1年 鬼本結香、碓井里緒

3年 山内富江

●専門高校生徒体験発表文・作文・研究文集

表紙原画作成 3年 友野由紀子

●東京都明るい選挙ポスターコンクール

文京区最優秀賞 1年 鬼本結香

文京区優秀、東京都優秀、文部科学

大臣・総務大臣賞 1年 陣川 樹

文京区優秀、東京都入選

1年 木田 光

文京区優秀

1年 大沼博樹、日留川絢子

山本万貴、和田幸恵

3年 伊藤彩歌、今井志芳夏

●レタリング技能検定

3級 2年 31名合格

2級 2年・3年 13名合格

●色彩検定

3級 2年 9名合格

2級 2年・3年 5名合格

●定時制

●第20回東京都高等学校工業科生徒研究発表大会

研究成果発表大会

努力賞 3年I 内山佳美

●平成25年度(第64回)東京都立高等学校 定時制通信制過程芸術祭

美術部門

金賞 2年A 下田 健太郎

銅賞 1年A ベン トウ

写真部門

銀賞 1年G 伊原詩乃

銅賞 2年G 坂本美由布

書道部門 銅賞 4年I 志村 聡

●平成24年度卒 定時制アートクラフト科 第51回全国技能五輪大会

貴金属装身具部門 第2位 福山優香

●2013年度「工芸祭」

平成25年11月2日(土)・3日(日)、母校において2013年度「工芸祭」が開催されました。ご父兄や工芸高校を目指す中学生の親子等、6014名の来場者で賑わいました。

★公募作品大賞者は次のとおりです。

★ポスター 3年D科・鈴木南奈

★プログラム 2年D科・寺戸千晴

★記念バッジ 2年G科・林 綾乃



●平成25年度 卒業制作展

●日時 平成26年

3月2日(日)・4日(火)・5日(水)

9:00~17:30(入館は17:00まで)(注:3日(月)は休館日)

●場所 東京都美術館1階第3展示室

*皆様お誘い合わせのうえ、後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。

特別講演会

『デザインの仕事とは』

トータルデザインに向けて

デザイン科OB講演会

平成25年12月6日(金)

都立工芸高等学校1F視聴覚ホール

講師:宮沢 功氏(昭和34・D卒)

デザイン科ではPTAのご協力の下、毎年期末考査後の時期にOB講演会を行っております。

この講演会は、デザイン現場の第一線で活躍されているOBをお招きし、在校生に対してデザインについての知識と意欲を深めることを目的としています。

今年度は環境デザイン・インテリアとして活動されている先輩の、工芸高校時代から今日に至るまでのお話を頂きました。講演後の質疑応答も活発に行われ、生徒にとって貴重な時間となりました。



講演会での宮沢 功氏

都立工芸高校デザイン科教員

永田真希子